

平成26年2月28日（金）発行（卒業特別号）



校長挨拶

保護者の皆様、本日はお子様の御卒業誠におめでとうございます。

今日までのこの十八年間、様々な御苦労があったことと推察いたしますが、お子様を支え、育まれてきたことに対しまして敬意を表するとともに、3年間にわたり本校の教育活動に御理解と御協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

高校時代は、長い人生の中でほんのわずかな時間にしか過ぎませんが、人間としての生き方・考え方、さらには社会との関わり方を定めていく重要な時期であります。向陽高校での学習や課外活動などの経験を通して感じた、喜びや達成感、また戸惑いや挫折の経験のすべてが、お子様にとってこれからの夢多き人生の大きな糧になると確信しています。

今日、日本を取り巻く国際社会の情勢は地球環境問題など未解決の難問が山積しており先を見通すことが難しい時代を迎えています。

このような状況にあっても、日々気持ちを新たに、自らの人格を鍛え、正々堂々と夢を追い求め、自己実現をめざしてほしいと願っています。また、他人の心の痛みをしっかりと受け止め、最後まで逃がずに責任を果たすことができ、感謝の気持ちを忘れない、思いやりと責任感のある大人になってほしいと願っています。

保護者の皆様におかれましては、厳しい社会に船出するお子様を、これまでとは少し距離をおきながら、人生の先輩として見守っていただきたく思います。

最後に、お子様の輝かしい未来に栄光あれと心からお祈り申し上げます。

校長 永井 正人

感謝の心が高まれば高まるほど、それに正比例して幸福感が高まっていく。 松下幸之助（Panasonic 創業者）



3年生担任より

保護者の皆様、本日はお子様の御卒業おめでとうございます。今日までの御支援、御協力、誠に有難うございました。3年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。人間80歳まで生きるとすると、皆さんの人生は残り60年以上あります。今後の生活に活かせる美しい習慣を若いうちに身につけて欲しいと思います。ルールやマナーを守るなど誰でも身につけなければならないことがたくさんあります。身につけた分だけその後の人生が豊かになります。新聞を読む、読書をするといった「いずれどこかで役に立つ」ことも大切にして欲しいと思います。生活はゲームではありません。セーブしたりリセットすることはできません。誰にも平等に時間は過ぎていき、後戻りはできません。何が成功につながって何が失敗につながるかは誰にもわかりません。けれども成功のためには前向きに努力を続けることが大切です。勉強も生涯続くものです。この困難な時代を乗り越えていかねばならない皆さんには、進化し学習し続けることが求められています。何事にも積極的に今後も頑張ってください。応援しています。

3年学年部長 5組担任 藤本 勤

御卒業おめでとうございます。この3年間の出来事を振り返って思うことは、やはり卒業生のみなさんが高校入学直前に起きた2011年の3月11日の東日本大震災と、その直後の福島第1原発事故が日本社会と世界に与えた衝撃の大きさです。シーベルト、放射性セシウム、半減期、プレートなどさまざまな科学用語が新聞紙上に登場し、震災地支援のボランティアだけでなく、子どものために放射線のことを知りたいと本を読んだり、講演会に参加する若いお母さんお父さんの運動が起きました。

学校教育での学びだけでは生きる力は身につけません。高校で物理を勉強していなくても、生きるためには学ばなくてはならないのです。インターネットやスマートフォンなど手段は多様に発達しています。「学び、知り、人と社会につながる力」を若いみなさんは磨いてほしいと期待しています。私も学び続けます。

3年1組担任 和気 徹

御卒業おめでとうございます。

3年前の新入生登校日に、緊張した面持ちで教室で座っている子供達の表情を今でも憶えています。その時から、素直でまだまだ幼さが残っているという印象をずっと持っていましたが、3年生になるとそのイメージは変わり、一回り大きくなったように思います。

多くの子供達にとって、進路選択はこれまで経験したことのない大きな壁です。自分が何者で、これからどうするのかという間に真剣に向き合わなければならず、今までのように、周りの人が言うことに従うだけでは乗り越えられません。自分で考え、自分で決断するという経験が自信に繋がるのでしょう。

周りの大人は、子供達のことをいつまでも子供だと思いがちですが、子供達は内面では大人への道を着実に歩んでいるのだとつくづく感じます。

3年2組担任 溝口 桂子

向陽高校での担任は、今の学年で5巡目となりました。1巡目はI類のクラス、2・3・4巡目はIII類体育系クラス、そして5巡目は今の学年となりました。久々の担任となったので、どんな学年になるのだろうか？と期待と不安の両方がありましたが、3年間本当に楽しく過ごすことができました。1年生の頃は、明るく活発ではあるが自己中心的な部分も多く、落ち着きがなく注意をされることも多かったけれど、学年を追うごとに自分の将来のことや、自分のまわりの人のことを考えられるようになり、行動も少しずつ落ち着きが見られ、けじめがつけられるようになったと思います。文化祭、体育祭を始め、行事への取り組みは非常に熱心であり、各クラスともにまとまりが出てきました。全体を引っ張っていくリーダーが育ち、そこに一人一人がうまく関わり、達成感、充実感を感じられた高校3年間を送れた人が多かったのではないかと思います。明日からはみんなで学校にそろって来ることもなくなり、寂しい気持ちですが、それぞれが選択した道を進み、自分の夢や目標を持ち、また、頑張ってください。人間には「3つの幸せ」があります。1. 親や他人にしてもらった幸せ、2. 自分のやりたいことをやれる幸せ、そして3. 自分が他人に何かをしてあげられて、喜んでもらえる幸せ、これからは、3番目の幸せを1つでも多く感じられるようにしてほしいと思います。卒業、おめでとう。

3年3組担任 山本 説子

お子様の御卒業おめでとうございます。

37期生は行事等の取り組みにも意欲的で、最後の向陽祭もとても盛り上げてくれました。また卒業式で歌いたいという声が委員会であがった時は本当に嬉しく思いました。

私はこの37期生の入学年に本校に転入し、久しぶりの担任でした。二人の子の産休と育休で育児を経験して、保護者の皆様の御苦労がよく分かるようになりました。毎朝の遅刻や行事の準備、成績不振の指導など心配事も多いですが、その為に担任ができることを考えて取り組んだのがパーソナルポートフォリオです。クラスメートの長所を書いて渡されたカードや、表彰状のコピー等をファイルに綴じていきました。いつも仕分けしながら、それぞれ長所を見つけて書きあっているのを読み、微笑ましく、元気をもらっていました。

これからも一生懸命頑張った自分に自信を持って、たくましく生き抜いて欲しいです。

3年4組担任 山本 朋子

3年生のみなさん。ご卒業おめでとうございます。

みなさんと出会ってから1年も経っていないのに、今日の日を迎えるのは大変寂しく感じています。また、短い間でしたが、みなさんと出会ったことを大変嬉しく思っています。

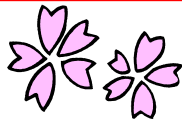
4月にどんな学校だろうと、緊張しながら向陽高校に転任してきた日を覚えています。3年生の担任というのは正直戸惑いましたが、ほんとはよい学年団だったなと思います。一人一人が個性的で力を発揮でき、特に校外学習や学校祭ではすごいパワーを感じることができました。授業は……概ねしっかりできていたかな。何より、人懐っこく笑顔が多かったのが印象的でした。

最後に卒業するみなさんへ

高校卒業後は、自分の人生を生きていくためのメインステージです。試行錯誤と試練の連続ですが、その中に成長があると思います。先生は、初任から5年越しの希望が叶い、向陽高校に来ることができました。それまでの苦労がかけがえのない経験となりました。これからも頑張っていきます。みなさんも頑張ってください。

3年6組担任 柏原 剛

進路部



【3年生の合格状況(2/21現在判明分)】			
就職	民間企業	(株)日豊製作所	1
	計8名	(株)吉川運輸	1
		(株)鼓月	1
		(株)鉄道リネンサービス	1
		(株)阪急電鉄	1
		(株)泉仙	1
		(株)キャピタル東洋亭本店	1
		(株)王将フードサービス	1
進学	四年制大学	京都府立医科大学	1
	計130名	関西大学	11
		関西学院大学	3
		立命館大学	7
		京都産業大学	6
		龍谷大学	18
		佛教大学	9
		京都女子大学	1
	短期大学	華頂短期大学	2
	計13名	京都聖母女学院短期大学	2
		関西外国語大学短期大学部	2
		専門学校	京都看護助産学校
	計47名	公立南丹看護専門学校	1
		京都保健衛生専門学校	1
		洛和会京都厚生学校	1
		近畿高等看護専門学校	2
		京都医健専門学校	3
京都製菓技術専門学校		2	

